# 浅 間 山

## 概況(平成14年9月)

地震活動は、やや活発な状態が続いています。噴煙活動は、噴煙のやや多い状態が続いています。18 日から 19 日にかけて火山性地震 (無感)が増加しました。地震活動は 18 日以前の状態に戻りましたが、平成 12 年 9 月以来のやや活発な状態は続いています。情報の発表状況については下表を参照ください。

火山名	火 山 情 報 名	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第7号 火山観測情報第8号		地震回数増加(地震・微動・噴煙・熱の状況) 地震回数減少し、増加前のレベルに戻る

## 地震活動の状況

2000 年 9 月から地震活動のやや活発な状態が続いています。18 日から 19 日にかけて火山性地震が多発しましたが、20 日以降は増加する前の状態に戻り、1 日あたり 30~50 回程度で推移しています (全て無感地震)。また、15 日 13 時 18 分~32 分にかけて、微小な火山性微動を 5 回観測しました。微動の観測は 2001 年 10 月 24 日以来となります (表 1、図 1、図 2)。

表 1	火山性地震日別回数表(	(浅間山)	)

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	旬計	
高周波地震	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
低周波地震	18	26	31	33	34	39	34	50	25	36	326	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	旬計	
高周波地震	0	1	1	1	0	0	0	4	1	1	9	
低周波地震	16	33	47	35	30	36	33	239	127	48	644	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	旬計	月計
高周波地震	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	4	15
低周波地震	58	43	34	44	41	32	29	32	26	34	373	1343

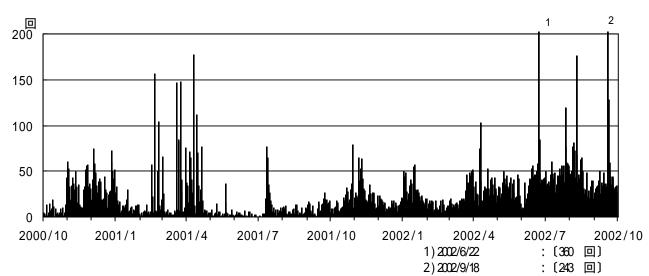
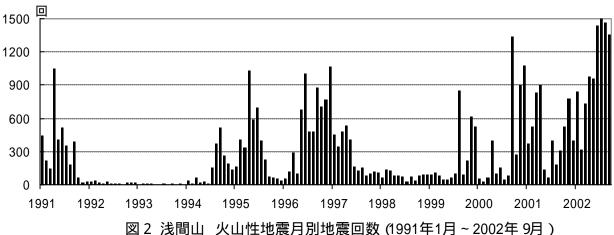


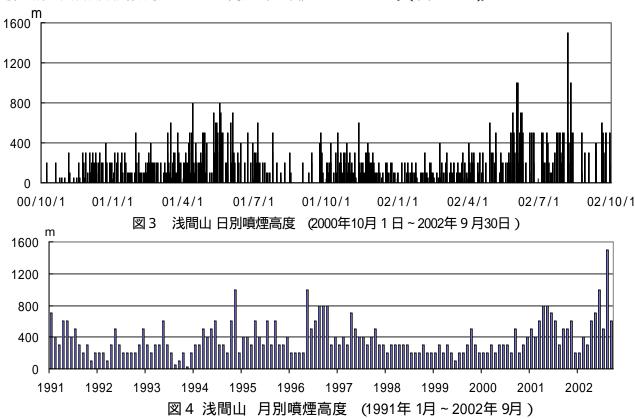
図 1 浅間山 火山性地震日別回数 (2000年10月1日~2002年9月30日)

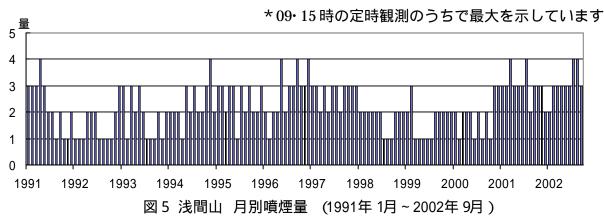


四~次间山 人山住地辰月別地辰四数(1331年1月)

#### 噴煙活動の状況

遠望カメラによる観測では、噴煙はやや多い状態となっています。群馬県林務部の火口カメラによると、引き続き火口底噴気孔周辺において高温域が確認されています。(図3~5)。





\* 09・15 時の定時観測のうちで最大を示しています

## 火口内の状況

群馬県林務部の火口カメラによると、引き続き火口底噴気孔周辺において高温域が確認されています。 また、7日および11日の夜間に、微弱な火映現象を確認しました(図6参照)。なお、この火映現象は、 6日に観測を開始した高感度カメラでとらえたもので、肉眼ではみることのできない弱い現象です。

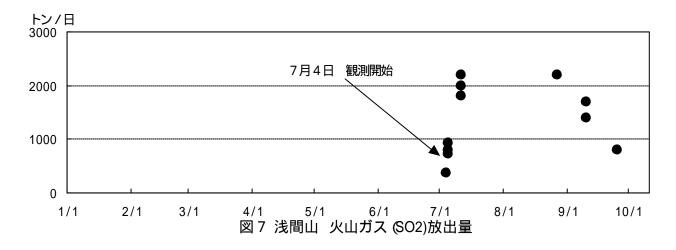


図6 微弱な火映現象 (2002年9月7日) 軽井沢測候所設置の高感度カメラによる】

\* 当庁が設置しました高感度カメラは、被写体照度0.0004lx (ルクス)に設定してあります。肉眼の見え方と明るさの関係では、物の所在がようやく分かる程度の明るさが 0.1lx 程度です。さらに暗くなり、物の明暗だけがおぼろげに分かる程度の明るさで 0.001lx 程度です。今回の高感度カメラは、さらに一桁暗い被写体照度の物でも見ることができるほど高感度に設定されています。

### 火山ガスの状況

9月10日および25日に実施した、二酸化硫黄の放出量の観測結果は、それぞれ約1,400~1,700トン/日、約800トン/日と、8月27日(2,200トン)に引き続き多い状態でした。



## 地殻変動の状況

GPS 観測では、火山活動によるとみられる変化はありませんでした。傾斜観測でも大きな変化は 観測されていません(図 8 ~ 10 )。

